

築上東部二町合同消防出初式

上毛町・吉富町による「平成27年築上東部二町合同消防出初式」が、1月18日午前10時から上毛町総合グラウンドで行われました。

出初式は、警察、消防、二町関係者のほか、多数の来賓が見守る中、厳粛な雰囲気のもとで行われ、坪根町長をはじめ、来賓の方々による各消防団の人員、機械器具の点検の後、団員への各種表彰などが行われました。なお、上毛町消防団関係の表彰者は次のとおりです。(敬称略)



- 福岡県知事表彰** 井下英文、秋吉実、尾北英敏
- 日本消防協会表彰**
- 功績章 三田敏和
 - 精績章 南幸広
 - 勤続章 古原修、川上実、井上一行
- 福岡県消防協会表彰**
- 優良団員 橋本尚治
 - 永年勤続 **10年** 矢野敬司、末久政人、峯正輝、高畑紀広、恵良一彦、中野一広、今瀬賢一
 - 15年** 高木圭介、岡崎浩、内尾秀隆、永元保隆、御屋敷剛、東正二
 - 20年** 井下英文、秋吉実、尾北英敏
 - 25年** 山下朗
 - 30年** 大桐豊

“社会を明るくする運動” 作文コンテスト 優秀賞受賞

第64回“社会を明るくする運動”作文コンテストにおいて、「社会を明るくするために」と題した作文で、橋本真優さん(友枝小6年)が県内小学生応募作品14,688点(参加校407校)の中から、最優秀賞に次ぐ優秀賞「福岡県保護観察所長賞」を受賞しました。

“社会を明るくする運動”とは すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動。



町内の小学生が門松づくりにチャレンジしました

12月28日(日)たいへいの里研修室にて、友枝校区育成会主催の「上毛町小学生門松づくり」が開催され、37名の町内小学生が参加しました。

参加した小学生は講師から門松の作成手順を学びながら作業を行い、1時間で完成させました。初めての門松作りは慣れない作業で大変でしたが、楽しく作業ができ、門松の出来にも満足して、普段は会うことのない友だちとの交流を楽しみました。



第6回上毛町小学生カルタ大会

12月21日(日)げんきの杜大広間にて、南吉富校区育成会主催の「第6回上毛町小学生カルタ大会」が開催されました。

参加選手28名(低学年の部13名、高学年の部15名)の中、熱戦が繰り広げられました。結果は次の通りです。

- 低学年の部
- 優勝 高村 知愛 (南吉富小学校)
 - 準優勝 宮内 萌衣 (南吉富小学校)
 - 3位 宇都宮 千夏(南吉富小学校)
- 高学年の部
- 3位 榎永 結 (西吉富小学校)
 - 優勝 出口 祐里 (南吉富小学校)
 - 準優勝 宮内 彩羽 (南吉富小学校)
 - 3位 高村 那彩 (南吉富小学校)
 - 3位 葉金 茉妃瑠(南吉富小学校)



短歌

二反田 和美 選

年越しの神楽太鼓の鎮守ここ若きに帰る慶びを言う
喜多代正文
百歳の自慢の生きさま聞きてをり両の腕に力湧きくる
馬場 静香
枯葉散り果てし庭木にぶら下り揺れ落ちそうなみの虫
吉田美代子
二つ
皓皓と枕辺照らす初満月祝賀の舞いに月の世界へ
二反田和美
知らずして死との戦い迫り来る三ヶ月前の貴女の笑顔
中学のひ孫にあげたお年玉九十歳の曾祖父百円玉あり
高畑 廣視

川柳

桐村 佳苗 選

天寿まで一緒にしましよ趣味の道
鬼の面はずせばなんといい男
総本家技にこだわり暖簾継ぐ
鼻唄で今日の料理を推理する
マララ女子凛と咲く花素晴らしい
男なら一度は鬼と呼ばれたい
六度目の初春に乾杯年男
手鏡に鬼と恵比寿の二面棲む
ノール賞世界を照らすLED
説教師教義と笑いの綴れ織り
婆あばすきばあばもマー君めっちゃ好き
鬼婦警家ではやさし二兎のママ

- 尾形 忍 選
- 秋吉 晴子
 - 秋吉美津恵
 - 荒巻 勝郎
 - 井ノ口陸子
 - 岩花 太美
 - 白木すなえ
 - 内尾 一實
 - 大石 敏子
 - 大木本法通
 - 尾形 忍
 - 岡山キヨミ
 - 小川 恵子
 - 河野八千代
 - 木下テル子
 - 桐村 佳苗
 - 熊谷 邦子
 - 熊谷 文子
 - 熊谷 文子
 - 末久 正子
 - 田長丸桂子
 - 筒井 徳子
 - 中野美智子
 - 中山恵美子
 - 名取 元子
 - 信安千代子
 - 飯田勢津子
 - 飯田 哲雄
 - 藤本 和彦
 - 藤本 正吾
 - 宮野 和子
 - 安枝 俊子
 - 山本美弥子
 - 吉本 友一
 - 吉本サツキ

俳句

尾形 忍 選

大根の間引菜香る夕餉かな
硝子戸の幼き手垢煤拭
小春日や割つて加はる佳き話
陽の匂ひ風の匂ひや干大根
猪の山犬数匹を放ちけり
山の水口にふくみて年迎ふ
大根を煮返す孤独にも慣れり
鉄塔の影長々と雪野かな
求菩提ひとつ据ゑて明け行く雪嶺かな
酒蔵の尽きて広野や寒昂
何かしてをらねば淋し毛糸編む
官兵衛のにらみし天守冬銀河
引き潮の砂の模様や石路の花
山伏の七戸の裔や山眠る
稜線の太き日輪冬菜畑
干渉を受けぬと老のマスクかな
雅楽の音流るる杜の落葉かな
稜線も峰も茜に枯木立
鍋焼や旅も終りの古都の茶屋
吊橋の向かふも紅き紅葉かな
行く年や本持つて入る仕舞風呂
遠き人に会釈を交はす冬田晴
卒寿また生きて拜める初日かな
年の湯や曲がりし母の背流す
芥焼く煙一すぢ枯尾花
山門を抜けて伽藍の紅葉かな
河豚鍋の湯気の向かふの笑顔かな
ばんばんと払ふ蕨屑注連作
故宮展出でて餅買ふ小春かな
人混みに亡き母みたり十二月
冬田道散歩の影の伸びにけり
一寝入りして聞く齢や除夜の鐘
雪を来て投ぐる賽銭初詣



Hello everyone!
In December I went to Kyoto for New Year. Together with my friend from Australia, we went to Kiyomizu temple during the day on the 31st and Yasaka shrine at night. At Kiyomizu temple, my friend ate Yatsunami and manjyu and said it was delicious! At Yasaka shrine, we enjoyed eating from the many food stalls. We did not enjoy in line for an hour before midnight! Suddenly, at 12.00 I heard some people say 'Happy New Year!' and the line started to move. Everyone was ushered into the shrine to make a New Years prayer. My friend and I were told that it is lucky to use a 5 yen coin. There were so many people! Those at the front may have had coins thrown on their heads, I thought it was a little dangerous. We threw our coins in, made prayers and then left. New Year in Japan is very different to New Year in Australia. I will never forget my time in Kyoto on New Year Eve! Till next time!
Tess

皆さん、こんにちは!
私は、京都へ行き年末年始を過ごしました。オーストラリアから来た友だちと一緒に、31日の昼は清水寺に行き、夜は八坂神社に行きました。清水寺で私の友だちは八つ橋やまんじゅうを食べて、「おいしい!」と言っていました。八坂神社ではたくさんの屋台があったので、いろいろなものを楽しんで食べました。お参りをするために、年明けの1時間も前から並んで待ったのは大変でした。夜中の12時の合図とともに皆が「ハッピーニューイヤー」を言って、並んでいた列が動き始めました。みんなが新年のお参りをするために神社に案内されて、境内の中に入りました。私と友だちは、5円硬貨をお賽銭にすると幸運を招くと教えてもらいました。とても多くの方がいました!一番前の人は、お参りをしている時に後ろの人のお賽銭が頭へ当たるかもしれないので、ちょっと危ないと思いました。私たちはお賽銭をあげ、お参りをして帰りました。日本の大晦日は、オーストラリアの大晦日と全然違います。京都で過ごした大晦日を、私は決して忘れたいと思います!では、次回まで
テッス